

第5回 発展途上国と先進国を分ける基準って何ですか？

著者	熊谷 聡
権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	IDE スクエア -- コラム おしえて！知りたい！途上国と社会
ページ	1-3
発行年	2018-09
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00050475



おしえて！知りたい！ 途上国と社会

第5回 発展途上国と先進国を分ける基準って何ですか？



どうやって発展途上国と先進国を区別するのですか？

よく使われている明確な基準はありますか？

「発展途上国」は経済が「発展」する「途上」にある国であって、「先進国」は経済発展によって経済が世界でも「先進」的な水準に達している国……という、なんとなく分かったような、分からないような感じですね。このふたつの線引きはあいまいで、ただひとつの基準はありません。国連や世界銀行は「発展途上国」にあたる定義をそれぞれ持っていますし、研究者もそれぞれに「先進国」や「発展途上国」の基準を示してから経済発展の分析を行うことがよくあります。

それでは、発展途上国と先進国を分ける時によく使われる基準がないかといえば、実はあるんです。OECD（経済開発協力機構）が発表している「ODA（政府開発援助）受け取り国リスト」がそれです。OECDは「経済的により進んだ国が経済発展途上の国々を支援するために全力で協力する」ことを目的にした国際的な機関で、「先進国クラブ」と呼ばれることもあります。

OECDでは3年毎に「ODA 受け取り国リスト」を発表していて、このリストにのっている国は、ODA

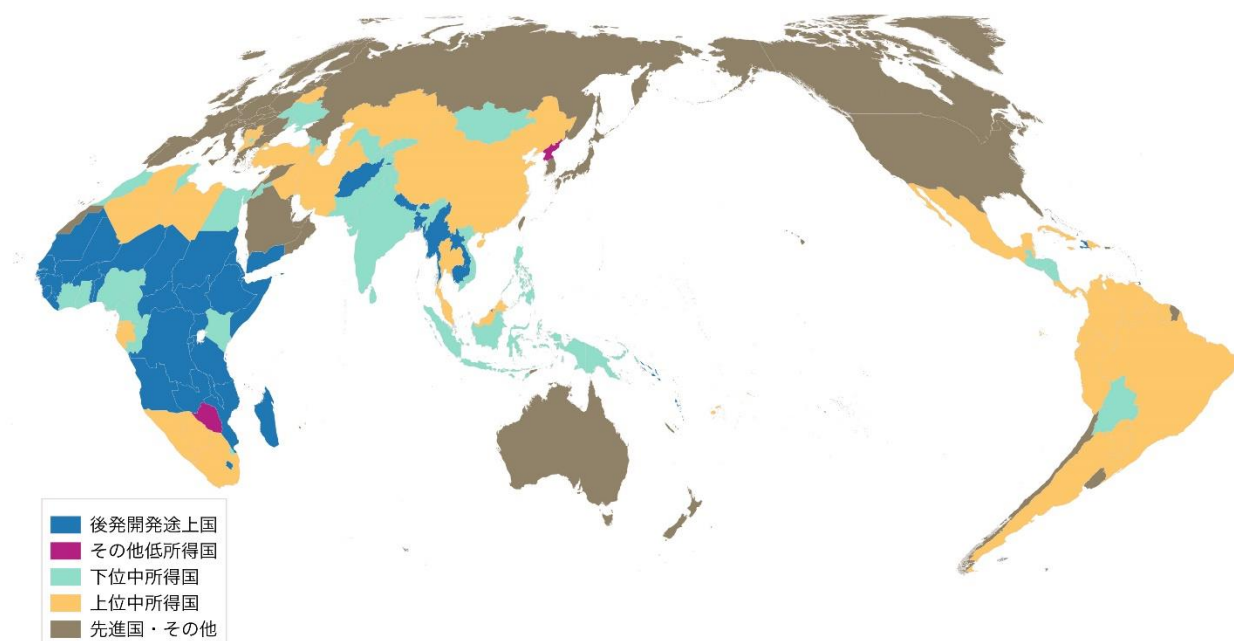
を受け取る資格があります。これらの国は、経済発展のための援助を受ける側ということで「発展途上国」と呼んでよいでしょう。[最新のリスト](#)は 2018-2020 年を対象にしています。リストにのっているのは、下の 2 つの基準のどちらかに当てはまる国々です。

1. 世界銀行によって「高所得国」以外に分類される国々（2016 年時点の一人当たり国民所得（GNI）が 12,235 米ドル以下の国々）
2. 国連によって後発開発途上国（Least Developed Countries）に分類される国々（一人当たり国民所得（GNI）、人的資源指数（HAI）、経済脆弱性指数（EVI）によって判断される）

ちなみに、世界銀行による分類では、発展途上国は「低所得国」「下位中所得国」「上位中所得国」の 3 つに分かれています。低所得国は GNI が 1,005 米ドル（約 11 万円）以下の国、下位中所得国は 1,006 米ドルから 3,955 米ドル（約 43 万 5,000 円）までの国、上位中所得国は 3,996 米ドルから 12,235 米ドル（約 134 万 5,000 円）までの国となります。国連によって「後発開発途上国」に分類される国のほとんどは、世界銀行の分類では「低所得国」となります。

この分類にしたがうと、2018-2020 年については「**発展途上国と先進国の境界線は一人当たり GNI でみて 12,235 米ドル**（約 134 万 5,000 円）」というのが答えになります。下の地図は、OECD のリストに基づいて発展途上国の分布を地図にしたものです。みなさん、これを見てどんなことが分かるでしょうか。

図：OECD のリストに基づく発展途上国の分布



(出所) DAC List of ODA Recipients, Effective for reporting on 2018, 2019 and 2020 flows より筆者作成。

回答 開発研究センター 熊谷聡 (くまがいさとる)